

遠阪トンネル有料道路の老朽化対策等に関する有識者会議（第2回会議） 議事概要

1. 日 時 令和6年1月25日（木）13:24～15:00

2. 場 所 兵庫県公社館1階大会議室

3. 出席者

【委員】（◎は会長）※敬称略、五十音順

あくとがわ しんいち 芥川 真一	神戸大学大学院工学研究科 教授
うぐもり まるみ 鷗森 丸美	朝来市商工会女性部 部員（欠席：事前に事務局へ意見提出があり事務局が報告）
おおき れいこ 大木 玲子	丹波市商工会 参事
こやま しんや 兒山 真也	兵庫県立大学国際商経学部 教授
もりかわ ひでのり ◎森川 英典	神戸大学大学院工学研究科 教授

【アドバイザー】※敬称略、五十音順

いちば ひろみ 市場 弘美	近畿地方整備局豊岡河川国道事務所 計画課長 【代理出席】
たけもと まさひと 武本 昌仁	近畿地方整備局企画部 施工企画課 課長

4. 議 事

- ・ 望ましい財源確保策のあり方

5. 議事概要〈委員等からの主な意見〉

【望ましい財源確保策のあり方】

- ・ 利用者負担を原則とし、料金徴収期間の延長はやむを得ない。
- ・ 物流、生活、観光と重要な立場を担っている但馬と丹波を繋ぐ唯一の自動車専用道路であることから料金値上げをしてしまうとマイナス面の影響がでてしまう。
- ・ 内部留保金の投入は、公社解散時にそれが本来は県に返されるものであることも踏まえ、利用者負担の原則の考え方を基本に、地元市町長の意見も踏まえた総合的な判断が必要である。
- ・ イニシャルコストを削減するだけでなく、長期的な視点に立ち、新技術の導入を検討するなどライフサイクルコストの削減に努めてほしい。
- ・ 大規模修繕・更新や料金徴収期間の延長が必要なことを、利用者や地元市町にわかりやすく周知してほしい。
- ・ 地元市町と連携してさらなる利用促進に取り組んでほしい。
- ・ 利用促進策として、回数券の販路拡大やデジタル化等も検討してほしい。

【その他】

- ・ 遠阪トンネルは、県内における自動車専用道路として重要な路線であり、大規模修繕・更新は必要である。将来にわたり安全・安心・快適な自動車専用道路としてサービスを提供する必要がある。
- ・ 北近畿豊岡自動車道と一体運用している自動車専用道路であることから、長寿命化修繕計画等の策定においては国と連携していくことが必要である。冬期の除雪においては、国に委託して一体的な管理を行っており、既に連携して取り組んでいるところであるが、今後実施する大規模修繕・更新の実施時期や施工方法等についても工事に伴う通行規制など十分に情報共有が必要である。利用者への影響が最小となるように配慮してほしい。
- ・ 設備は、設備がもつ本来の機能を発揮することが重要であり、点検を続けていく中で部品交換だけでなく、計画的に新しい設備へ適宜更新するなど、必要な対応も検討してほしい。
- ・ 今後普及が望まれる電気自動車等に対する優遇等も検討するべきである。